

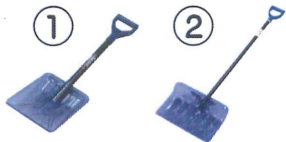
とらっくあずまくん

2020.11月発行 vol.6
有限会社トラックアズマ



8月からトラックアズマに入りました本社の川副 司（かわぞえ つかさ）です。
私は、生まれも育ちも北海道ですが、大阪に来てかれこれ6年になりました。
今回冬も近くなってきましたので、北海道の冬の恒例行事、除雪作業について書きたいと思います。
子供達は雪遊び感覚で楽しいのですが、大人になるとこれがまた辛い！
まずは除雪に使用する道具・機械を紹介します。

★雪かきスコップ 雪の種類によって使い分けます。



- ①雪の量が多かったり、ぼたん雪（重たい雪）の時は少しずつすくって一か所に集めます。
- ②雪の量が少なかったり、粉雪（軽い雪）の時は一気に押し一か所に集めます。

★スノーダンプ



一か所に集めた雪を、町内等で決められている雪捨て場にスノーダンプを使って持って行きます。

このスコップと、スノーダンプは、基本どの家庭にもあります。

機械になれば、小型から大型まで様々な種類があります。



小型除雪機



タイヤショベル



グレーダー



ロータリー除雪車

等々があり、これらはその一部です。

建設業者が一般道路を除雪する際、タイヤショベル・グレーダー・ロータリー除雪車を使用します。
除雪は、夜中～早朝に作業しています。

～一般の家庭の除雪の流れ～

朝は出勤前に車の雪を降ろし、車がスムーズに出るよう除雪します。

車を動かす前にだいたい窓ガラスが凍って前が見えないので、5分～10分くらい暖気してから出勤します。

雪が積もっていなければ、除雪はしませんが、車の暖気は必ず行います。

なので、いちいち外に出て車のエンジンをかけないで
良いようにエンジンスターターのリモコンを搭載している車が多いです。

夜は雪が降っていれば雪を家の前に出しておき、
そうすると夜中に除雪車が雪を持って行ってくれます。

定期的に屋根に積もった雪降ろしもします。

だいたいの流れは以上ですが、常に天気予報や夜は外を
何度も雪が降っていないか確認します。

雪が降るといろいろな仕事が増えますが、雪が積もっていることで独特の静かさも味わえます。

もし、皆様が北海道に遊びに行く機会がありましたら、冬の北海道も是非！！

※道具・機械の写真は、インターネットからお借りました。

昨年の実家前の風景です。



⇒⇒ 裏面もあります ⇒⇒

本社の鍛冶照剛です。

季節も夏からの変わり目となり、朝晩の寒暖の差も激しい中、皆様体調などにはお変わりないでしょうか？
コロナも中々終息の兆しも見えず、春夏秋冬に関係なく、マスクの着用が日常的となってきました。
コロナの流行の兆しを見せ始めた頃、マスク不足が深刻となり、高値での転売など社会問題になっておりましたが、弊社ではマスクを社員一同に支給してくれておりましたので、幸いにも一人の感染者も出ることなく、現在に至ります。

先ほどのマスクの着用が日常的になってきた話に戻りますが、最近では使い捨てのマスクだけではなく、夏用の冷感マスクや自作マスク、飛沫飛散防止用のフェイスシールド等々、多種多様なグッズを見かけます。

コロナ禍前と違い、日常的に着用するものとなっておりますので、機能性は勿論のこと、デザイン性も求められているように感じます。

そのような中で今回は、私の妻が作成したオリジナルのマスクとマスクピアスを紹介したいと思います。
前々からマスク不足にいつでも対応できるようにと作成してくれていて、私自身もプライベート用に数枚作ってもらっていました。

数枚、数十枚と作成していく中で、生地の手柄や機能性だけではなく、次第に妻の遊び心やセンスが出た作品になっています。



妻のコメント

『もともと手作りは大好きで、小物から服まで作りたいものは全て作ってきました。そんな中でマスクが必需品となり、欠かせない日々となったことで、もっとオシャレを楽しみたい！と考えるようになったことがきっかけです。
マスクピアスは、通常のピアスとしても使用可能です。また、マスクに穴を開ける必要はなく、好きな場所に付け替えることができます。歩くだけでチャームが揺れてキラキラ光るので職場でも好評で、ジワジワと広がる輪がうれしい今日この頃です。』

まだまだコロナは予断を許さない状況で、神経過敏になるようなことも多いとは思いますが、マスク一つにしてもこのような遊び心を出すことで気持ちにも少し余裕が出てくるように感じました。